

事務事業名	戸籍記載事務		所属部局	市民部	単位番号	4055				
			所属課室	窓口サービス課	課長名	井上 洋美				
			所属担当	戸籍住民記録担当	担当者名	塩澤 雅樹				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		21 窓口サービスの拡充		01	一般	02	03	01	011	03
施策		34 窓口サービスの向上	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠	民法 戸籍法 戸籍法施行規則						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	戸籍は、日本国民の身分関係を登録してこれを公証する公簿である。人の出生から死亡にいたるまでの重要な身分関係の形成的な事項や発生した事実を戸籍簿という公簿に登録する事務である。本市の窓口で直接届出された戸籍届出書及び本市に戸籍があるが他市町村に届出され郵送されてきた戸籍届出書について戸籍届出事件本人にかかる身分異動事項・戸籍異動事項について戸籍法及び戸籍法施行規則並びに戸籍事務取扱準則に基づき正確・迅速に戸籍記載をする。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				消耗品	239					
				印刷製本費	23					
				書籍代	688					
			通信運搬費	50						
					計	1,000				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容：戸籍届出書の適正な審査及び受理。 法律に基づき正確・迅速な戸籍の記載。 27年度活動予定：戸籍届出書の適正な審査及び受理。 法律に基づき正確・迅速な戸籍の記載。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 戸籍届出件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ 戸籍処理件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ウ 本籍数</td><td>戸</td></tr> </table>	名称	単位	ア 戸籍届出件数	件	イ 戸籍処理件数	件	ウ 本籍数	戸
名称	単位											
ア 戸籍届出件数	件											
イ 戸籍処理件数	件											
ウ 本籍数	戸											
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	本市に直接届出された戸籍届出書及び他市町村から郵送されてきた戸籍届出書。	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 戸籍届出者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 本籍人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ 本籍数</td><td>戸</td></tr> </table>	名称	単位	ア 戸籍届出者数	人	イ 本籍人口	人	ウ 本籍数	戸
名称	単位											
ア 戸籍届出者数	人											
イ 本籍人口	人											
ウ 本籍数	戸											
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	法律(民法・戸籍法・戸籍法施行規則)に基づき正確・迅速に戸籍の記載をする。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 戸籍処理件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 戸籍処理件数	件	イ		ウ	
名称	単位											
ア 戸籍処理件数	件											
イ												
ウ												
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	戸籍届出の受理・記載事務を迅速に行うことにより市民サービスの向上に努める。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 戸籍訂正</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 戸籍訂正	件	イ			
名称	単位											
ア 戸籍訂正	件											
イ												

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度	
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)		
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円	962	873	1,000	1,254	1,254	1,254		
			事業費計(A)	千円	962	873	1,000	1,254	1,254	1,254	0	
年間トータルコスト	人件費	財源内訳	正規職員従事人数	人	2	5	5	5	5			
			延べ業務時間	時間	1,440	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200		
			人件費計(B)	千円	6,553	5,461	5,461	5,461	5,461	5,461	0	
			(A)+(B)	千円	7,515	6,334	6,461	6,715	6,715	6,715	0	
活動指標	ア	件	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0			
	イ	件	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0			
対象指標	ア	人	11,000.0	11,000.0	11,000.0	11,000.0	11,000.0	11,000.0	11,000.0			
	イ	人	74,164.0	74,164.0	74,164.0	74,164.0	74,164.0	74,164.0	74,164.0			
	ウ	戸	29,200.0	29,200.0	29,200.0	29,200.0	29,200.0	29,200.0	29,200.0			
成果指標	ア	件	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0	3,375.0			
	イ											
上位成果指標	ア	件	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
	イ											

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	国の身分登録制度として、明治4年4月開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	社会生活が複雑に変動していく中、個人の権利等の点から身分管理についても複雑化している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	正確に、また迅速に戸籍に記載・証明されることが望まれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	戸籍の記載内容を複数人で確認する。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	戸籍の記載内容を複数人で確認する。

事務事業名	戸籍記載事務	所属部	市民部	所属課	窓口サービス課
-------	--------	-----	-----	-----	---------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 社会生活の上で基礎資料としてなくてはならないものであり、正確に迅速に処理することで市民生活を円滑にするにあたり手助けとなる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 現状が適切と思われる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 法廷受託事務のため見直す余地は無い。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 現状の職員配置では、更なる向上は難しい。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 法定受託事務のため。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 法定受託事務のため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の事業費で事務に当たっている。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 効率的に事務処理に取り組んでいる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 本市へ戸籍届出(窓口受理・郵送受理)された者の身分関係について関連法に従い審査・受理し戸籍記載を行っている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	戸籍事務は法令等に基づいた正確かつ迅速な事務処理が必要かつ不可欠であり、戸籍事務に精通した職員の配置及び育成が必要である。特に近年は複雑な届出案件が増加しており、更なる専門知識が求められている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果水準</td> <td>向上</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	①	コスト削減優先度評価結果	⑫																	
成果優先度評価結果	①																					
コスト削減優先度評価結果	⑫																					